

## ロッテバイオロジクスが日本に本社を置くグローバル製薬企業 と医薬品開発・製造受託契約を締結

ロッテバイオロジクス（本社：韓国ソウル市、共同CEO：ジエームズ・パク、重光 聡）は、日本に本社を置くグローバル製薬企業と、医薬品の開発・製造受託（CDMO）に関する契約を締結したことをお知らせします。

本パートナーシップは、バイオ医薬品の開発および製造分野において、より戦略的な協業体制を構築するための重要な一歩となります。

また、本取り組みは、信頼関係に基づく協業をさらに深化させるための有意義な出発点となり、日本を含むグローバル市場におけるロッテバイオロジクスの競争力強化を一層加速させるものと考えております。

### ■ ロッテバイオロジクスについて

ロッテバイオロジクスは、より健康的な世界に貢献する医薬品を提供することを使命として、2022年に韓国ソウルに本社を置いて設立されました。米国ニューヨーク州にあるシラキウス・バイオキャンパスでは、医薬品原薬の高品質なGMP製造サービスを提供しています。この施設では、5,000リットルのステンレス製バイオリクター8基による合計40,000リットルの生産能力を備えています。また、同キャンパスには、世界62以上の規制当局から承認を受けた分析QC試験ラボや倉庫施設も併設されています。さらにロッテバイオロジクスは、抗体薬物複合体（ADC）の結合技術サービスを通じて、新たな専門領域にも進出しています。原薬製造およびコンジュゲート（結合）機能の両方を備えたADCモダリティに1億ドル以上の投資を行っており、原薬製造からコンジュゲーションまで一貫した、エンドツーエンドのサービスを提供しています。ロッテバイオロジクスは将来を見据え、韓国松島（ソンド）バイオキャンパスにおいて、先進的なバイオプラントの建設を進めています。第1プラントはすでに着工しており、2027年の稼働開始を予定しています。施設には、商業生産向けの15,000リットルのステンレス製バイオリクター8基と、臨床用途に対応する2,000リットルのシングルユースバイオリクター複数基が設置される予定です。これにより合計で120,000リットルを超えるバイオリクター容量を誇る製造拠点となります。

詳細は <https://www.lottebiologics.com> をご覧ください。